

科目区分	専門分野	授業科目	精神看護学概論
講師名	東 孝子(14) 岡本 諭(16)	開講年次	2 年次 第1 学期
単位数 (時間)	1 単位 (30 時間)		
授業概要 * 講師からのメッセージ			
目的：心の健康と発達から精神障害をとらえ、地域での生活を目指す、地域で生活をしている対象と家族を支えるための看護活動および、精神障害のあるあらゆる対象の生活を支える役割と機能について理解する。 目標：1. 現代社会の特徴と、心の健康問題について理解する。 2. 精神看護の役割と機能を担うための人間関係構築のスキルやコミュニケーションスキルについて理解する。 3. これからの精神看護における課題を理解する。			
回	授 業 内 容		
1～2	1. 精神保健の考え方 1) 精神保健で学ぶこと 2) 精神の健康と精神障害のとらえ方 3) ストレスと健康の危機 4) 心的外傷が精神の健康に及ぼす影響 2. 関係の中の人間 1) 全体としての家族 2) 人間と集団		
3	3. 地域における精神保健と精神看護 1) 精神障害をもちながら地域で暮らす人を支える 2) 地域で生活するための原則		
4～5	3) 生活を支えるための社会資源・サービス 4) 地域社会・学校・職場における精神保健		
6～7	4. 社会の中の精神障害 1) 日本における精神医学・精神医療の流れ 2) 精神障害と法制度		
8	5. 精神看護学で何を学ぶのか 1) 「心のケア」と現代社会 2) 精神看護学とその課題 6. 対象関係論（コフトの自己心理学・土谷健郎の「甘え」理論）		
9	7. ケアの人間関係 1) ケアの前提・原則・方法（ペプロウ・トラベルビー・外口玉子・オレム-アンダーウッド） 2) 患者 - 看護師関係における感情体験 3) 医療の場のダイナミクス		
10～11	8. 関係をアセスメントする 1) プロセスレコード（オーランド・ウィーデンバック・ペプロウ） 2) 自己理解の必要性和治療的コミュニケーション（ヘイズとラーソン）		
12	9. 回復を助ける 1) 入院治療の目的と意味		
13～14	10. 災害と精神看護 11. サバイバーとしての患者とそのケア 12. リエゾン精神看護 13. 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス		
15	終了試験 （45 分）		
授業方法	講義		
評価方法	筆記試験 （100 点 45 分）		
テキスト	医学書院：精神看護学①精神看護の基礎 精神看護学②精神看護の展開		
備 考	既習関連科目：心理学、コミュニケーション論、生活援助技術Ⅰ、精神看護学概論		